

日米投信概況

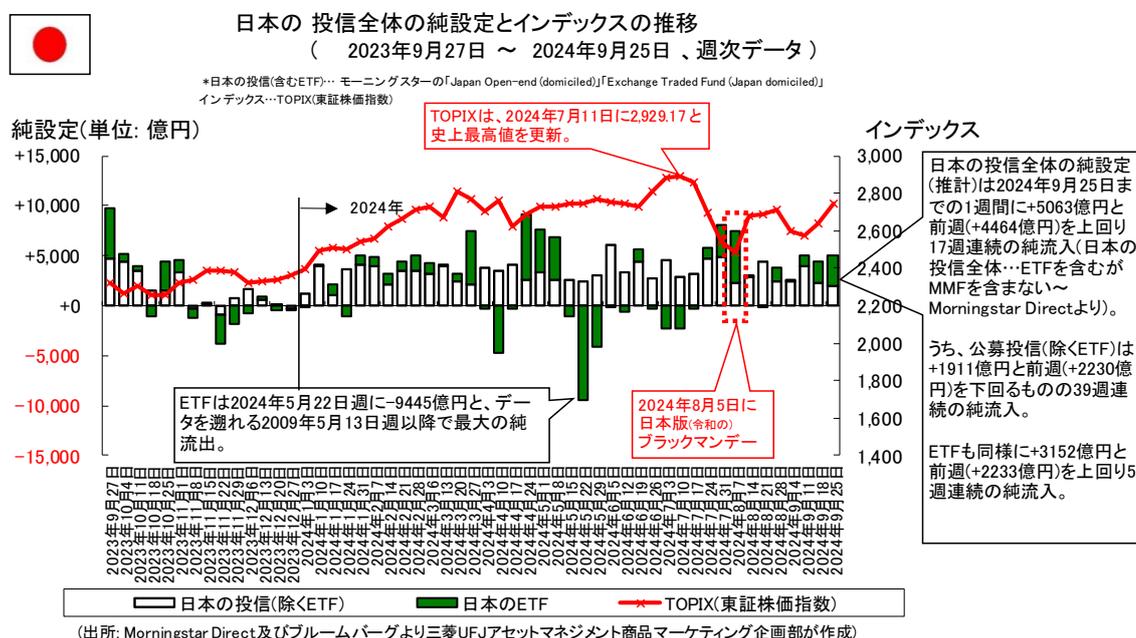
日米で日本株ファンドが流出となる中、石破茂新首相の「新しい資本主義」加速に期待

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp)
窪田真美 (mamii-kubota@am.mufg.jp)

- 日本株ファンド流出の中、石破茂新首相の「新しい資本主義」加速に期待.....p.1
- 米国は日本株が4週連続純流出!.....p.4

●日本株ファンド流出の中、石破茂新首相の「新しい資本主義」加速に期待

日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年9月25日(水)までの1週間に+5063億円と17週連続の純流入(日本の投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。うち、公募投信(除くETF)は+1911億円と前週(+2230億円)を下回るものの39週連続純流入(新NISAが始まった2024年1月来純流入)。ETFも+3152億円と前週(+2233億円)を上回り5週連続純流入。



公募投信(除くETF)の最新9月25日週の純設定額+1911億円について分類別に見る。純流入1～5位はグローバル株、北米株、日本債-中長期、モデルート・アグレッシブ・アセットアロケーション、グローバル債-日本を除く。日本株大型グロースが最下位で、3週ぶり純流出となっている。日本株大型グロースだが、個別でみると日経225連動インデックスファンドによるところが大きい。



日本の投信の分類別週間純流出(純流入の大きい順)

2024-09-25現在

*ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	World Equity	+90,302	+46,614	+325,617	16,477,610	グローバル株
2	North America Equity	+62,075	+69,274	+348,032	19,515,137	北米株
3	Japan Bond - Long/Intermediate	+19,198	+2,045	+22,372	4,034,461	日本債-中長期
4	Moderately Aggressive Allocation	+9,669	+6,858	+36,491	4,387,572	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
5	World ex-Japan Bond	+9,290	+3,183	+22,760	3,086,220	グローバル債-日本を除く
6	World Bond	+8,915	+1,420	+14,572	1,748,413	グローバル債
7	World ex-Japan Bond - JPY Hedged	+8,065	-215	+6,702	1,334,736	グローバル債-日本を除く-円ヘッジ
8	India Equity	+6,119	+6,407	+31,210	3,078,017	インド株
9	Moderate Allocation	+3,665	+3,841	+24,696	3,416,473	モデレート・アセットアロケーション
10	World ex-Japan Equity	+3,548	+19,273	+75,354	11,077,571	グローバル株-日本を除く
87	Japan REIT	-1,760	+1,360	-26,124	2,207,235	日本REIT
88	World Hybrid Security	-1,898	-71	-2,853	130,165	グローバル・ハイブリッド証券
89	World Other Bond	-1,904	-2,109	-6,352	526,067	その他グローバル債
90	Japan Small/Mid-Cap Value Equity	-2,068	-204	-7,706	1,226,686	日本中小型バリュース株
91	Risk Control Allocation	-2,648	-2,318	-10,241	1,236,453	リスク・コントロール・アセットアロケーション
92	Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-2,722	-1,233	+40,953	1,034,670	日本中小型グロース株
93	World ex-Japan Equity - JPY Hedged	-2,953	+359	-1,036	425,425	グローバル株・日本を除く-円ヘッジ
94	World Specialty Equity	-4,301	-8,172	-15,152	12,122,299	グローバル・特定テーマ/セクター株
95	Trading - Leveraged/Inverse Equity	-8,117	+2,979	+5,141	655,907	トレーディング・レバレッジド/インバース株
96	Japan Large-Cap Growth Equity	-18,539	+18,156	+63,184	6,050,452	日本株大型グロース
全96分類の合計		+191,140	+223,062	+1,056,898	128,761,490	
指数名		リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		+3.32	+1.37	-1.52		
S&P500		+1.86	+1.20	+2.44		
MSCI ワールド		+1.84	+1.47	+1.91		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品 マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)

上記は週次だが、下記は投信(除くETF)の日次純設定を投資対象別に見たもの。8月7日中心に大きな純流出となった米国株やグローバル株は以前の様に純流入傾向となっている。一方、日本版(令和)のブラックマンデーでも純流入を維持した日本株は、9月20日以降、純流出傾向である。9月20日に-113億円、9月24日-108億円、9月25日-22億円、9月26日は+7億円と純流入も、最新9月27日は-189億円と7月5日来の大きな純流出となっている(2024年9月)

月2日付投信調査レポートNo.422「日本で日本版(令和)のブラックマンデーが何も無かった様に投信純流入！米国ではNYダウが最高値更新となる中、日本株に5週ぶり純流入！」~ <https://www.um.mufc.jp/report/0m-ex/tdr/240902.pdf>)

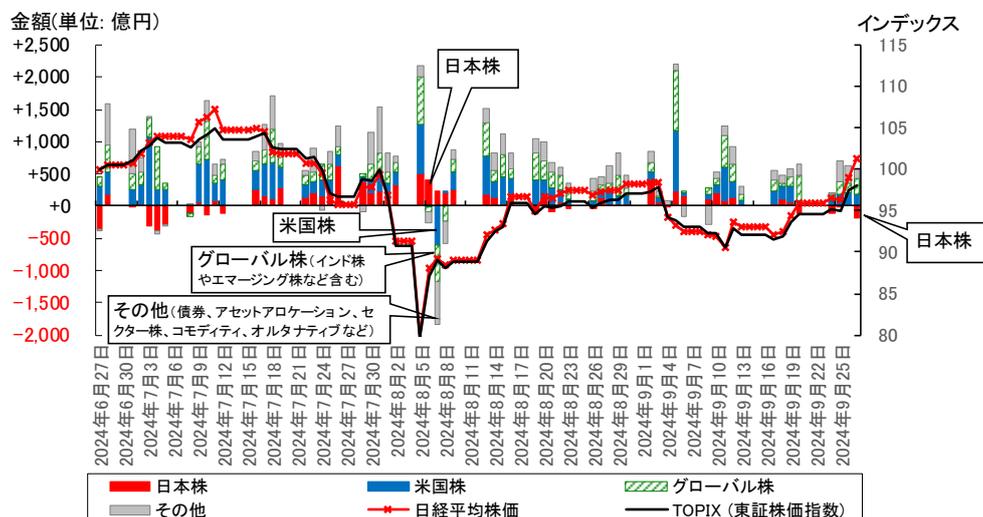


日本の投信(除くETF)の投資対象別純設定推計とインデックスの推移(日次)

2024年6月27日 ~ 2024年9月27日

日本の投信(除くETF)…モーニングスターの「Japan Open-end (domiciled)」

インデックス…日経平均株価、TOPIX (東証株価指数)、3か月前を100としている。



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品 マーケティング企画部が作成)

日経平均は2024年8月5日に31,458.42円という2023年10月31日以来安値(2024年7月11日の過去最高値42,224.02円から-25.50%下)を付けてから反発傾向にあり、**2024年9月27日(石破茂氏の自民党総裁決定前)には39,829.56円と2024年7月19日以来高値**(2024年8月5日に付けた31,458.42円から+26.61%上)まで付けている(2024年9月30日の前場は前営業日比-1,929.86円/-4.85%の37,899.70円)。日本株ファンドが9月20日以降、純流出傾向となつて、**9月27日に-189億円と7月5日来の大きな純流出**となっているのは自民党総裁決定前の利食いであろう(2024年9月17日付日本版ISAの道 その409「日米英の新首相・大統領と金融所得課税(キャピタル

ゲイン税)~NISAやスタートアップなど新しい資本主義継承者は? 米英仏の課税強化は富裕層だけ、大衆は軽減・非課税! 英国は新ISA“プリティッシュ・アISA”廃案で年金に期待!~)

https://www.ammf.jp/report/investigate/column_24917.pdf)o

2024年9月27日投開票の自民党総裁選挙は1回目の投票で高市早苗氏181票、石破茂氏151票となり、日銀の利上げ方針に反対する高市氏(総裁選期間

中に「金利を今、上げるのはあほ」と発言)が新総裁つまり首相となる可能性が高まり、円安・株高が進んだ(“高市トレード”)。石破氏は総裁選期間中、金融政策運営は「日銀の独立性を尊重」としつつ「**経済や国民生活に支障が生じない範囲、ペースで正常化されることを期待する**」などと発言していた。

日経平均が39,829.56円と2024年7月19日以来高値で引けた後の日本時間午後3時20分頃に決選投票結果が発表されて、高市氏194票、石破氏215票と石破氏の逆転勝利となり、“高市トレード”のアンワインド(巻き戻し)が起こり、円は対米ドルで約3円急騰し1米ドル=143台まで円高が進み、日経平均先物12月物は夜間取引で前日比-2,000円前後の37,700円まで急落した。 石破氏が金融所得課税強化に意欲を示した事がまた言われていた(2024年9月

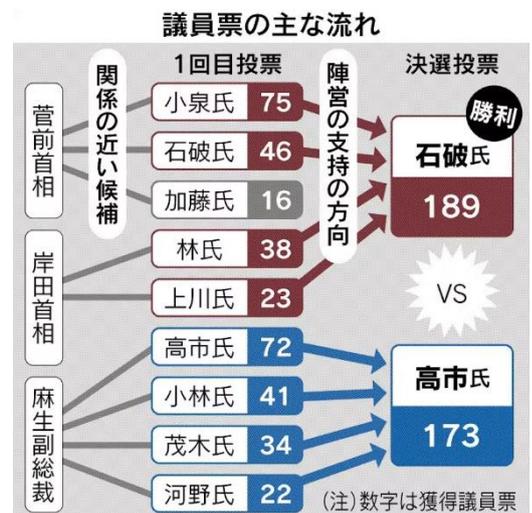
17日付日本版ISAの道 その409「日米英の新首相・大統領と金融所得課税(キャピタルゲイン税)~NISAやスタートアップなど新しい資本主義継承者は? 米英仏の課税強化は富裕層だけ、大衆は軽減・非課税! 英国は新ISA“プリティッシュ・アISA”廃案で年金に期待!~)

ただ、2024年9月27日日本時間午後6時からの記者会見で石破氏は「**デフレからの脱却を確実にしていかなければならない。物価上昇を上回る賃金上昇を実現するために、新しい資本主義にさらに加速をつける。**」と言った。2024年9月27日のテレビ東京「WBS/ワールドビジネスサテライト」では経済対策などについて「**必要であれば財政出動する。当然のことだ。**」と言い、金融所得課税強化について「**NISAに代表される貯蓄から投資への流れは加速しなければならない。税制は公平公正であらねばならない。税制調査会で議論になるので総理が決めつけることはしない。**」とも言っている。「**石破氏は総裁選前々日の25日になって経済政策を追加発表し、岸田政権の施策を継続すると訴えた。これに旧岸田派の松山政司参院幹事長が呼応し決選投票で石破氏に投票するよう旧岸田派議員に呼びかけた。**」とも言う(2024年9月28日付日本経済新聞「石破氏、議員票呼び逆転 派閥の力学なお影響 流れ

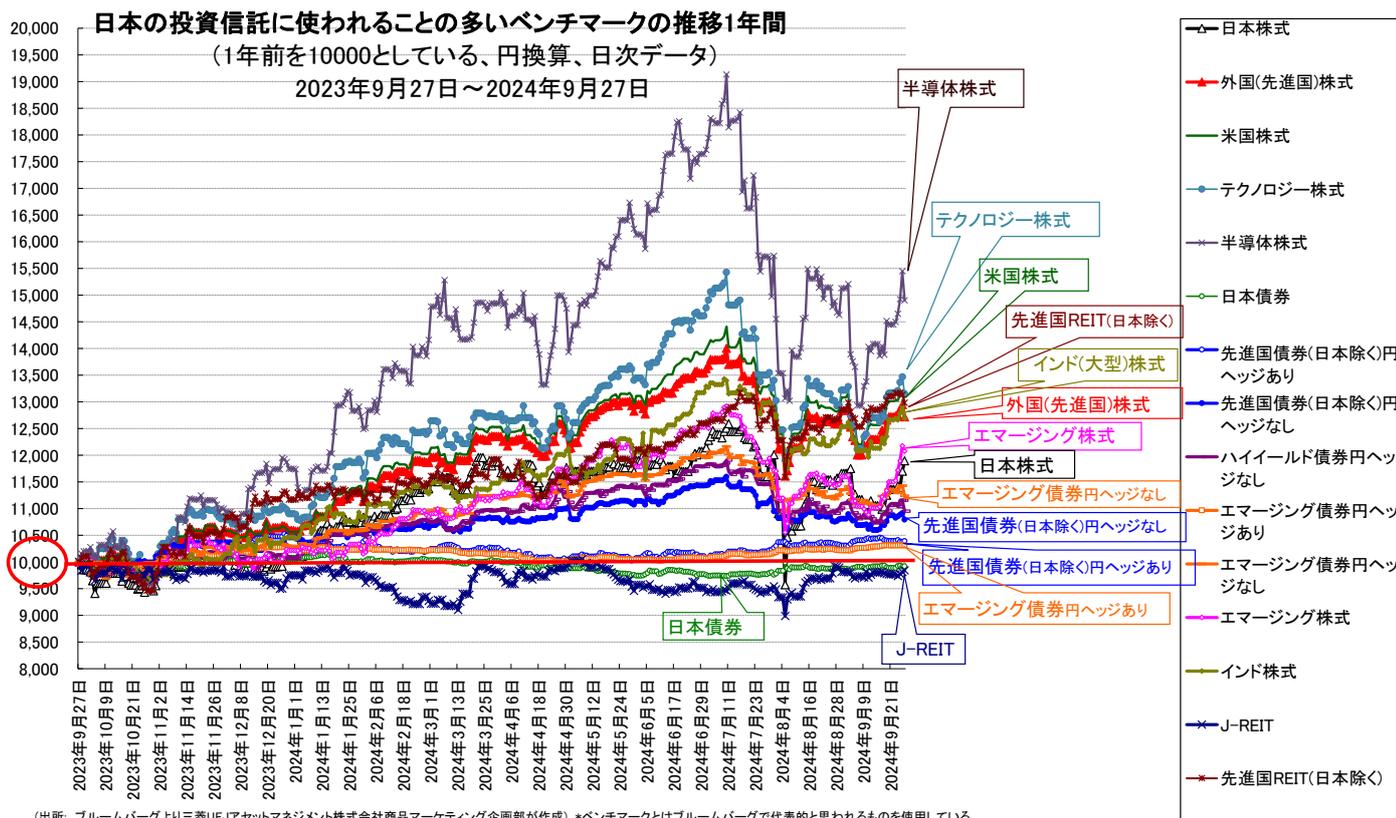
をつつた岸田・菅氏 石破氏、議員票呼び逆転」~ <https://www.asahi.com/article/DOKK20241755891/1429C3812000>)o



(出所: ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)



石破茂新首相の「新しい資本主義」加速に期待が高まる。



●米国は日本株が4週連続純流出!

米投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年9月25日までの1週間に+175億ドル/約2.5兆円と6週連続純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。うち、米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-41億ドル/約5855億円と14週連続の純流出。一方、ETFは+216億ドル/約3.1兆円と23週連続の純流入となった(継続的なミューチュアルファンドの純流出と

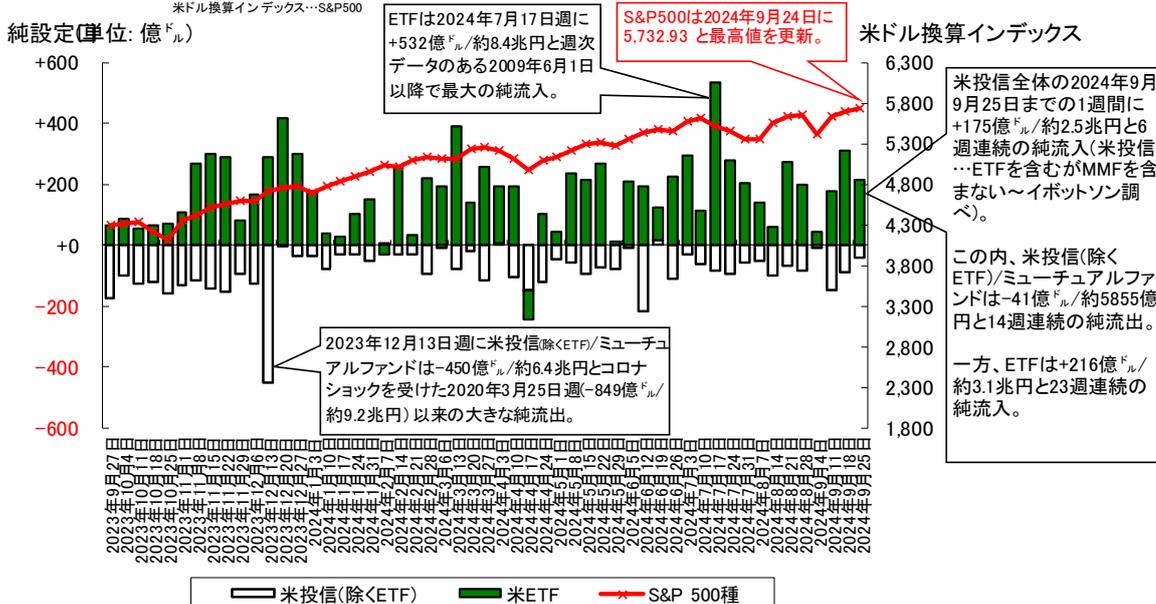
ETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増!」～ https://www.am.mf.co.jp/report/investigate/column_231127.pdf)

NYダウは2024年9月27日に42,313.00米ドルと最高値を更新。 2024年8月5日の直近安値(38,703.27米ドル～7月17日の直近高値41,198.08米ドルから-6.1%下)から+9.3%上。S&P500は2024年9月26日に5,745.37と最高値を更新。8月5日につけた直近安値(5,186.33～7月16日の最高値5,667.20から-8.5%下)から+10.3%上。



米国の投信全体の純設定と米ドル換算インデックスの推移
(2023年9月27日 ~ 2024年9月25日、週次データ)

*米投信(ETFを含むがMMFを含まない)… モーニングスターの「US Open-end & ETF ex MM ex FoF」。



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

*米モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点まで入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

その中、2024年9月25日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。 **米国株は+22億ドルと2週連続の純流入。セクター株は-3億ドルと5週連続の純流出、外国株は+38億ドルと2週ぶりの純流入。債券は+102億ドルと17週連続の純流入。** オルタナティブは+4億ドルと3週連続の純流入、コモディティは+6億ドルと6週連続の純流入。

投資対象をより細かく分類別に見る。 **純流入1~3位は、米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、米国超短期債、米国中長期コア債。**

米投信の分類別週間純流入(純流入の大きい順)

2024-09-25現在

*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

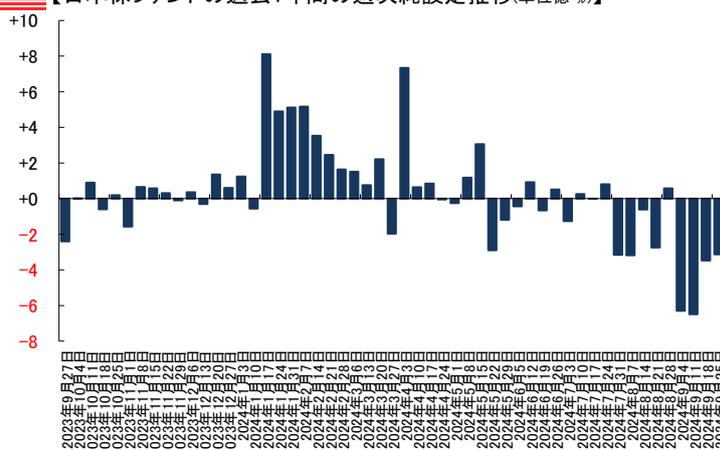
順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	Large Blend	+10,034	+1,425	+13,432	4,517,893	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
2	Ultrashort Bond	+4,600	+923	+4,350	330,837	米国超短期債
3	Intermediate Core Bond	+2,132	+1,398	+10,112	731,452	米国中長期コア債
4	Foreign Large Blend	+2,035	+643	+3,347	1,043,099	外国大型ブレンド株
5	Global Large-Stock Blend	+1,696	-119	+1,484	282,220	グローバル大型ブレンド株
6	Trading--Inverse Equity	+1,060	+79	+1,472	10,946	トレーディングインバース株式(ベア型)
7	Multisector Bond	+741	+959	+3,823	150,186	マルチセクター債
8	Short-Term Bond	+680	+452	+2,240	346,784	米国短期債
9	High Yield Bond	+671	+1,726	+3,612	297,128	米国ハイイールド債
10	Derivative Income	+663	+460	+1,863	97,769	デリバティブ・インカム
12	Technology	+571	-440	-1,126	355,483	米国テクノロジー株
111	Japan Stock	-313	-348	-1,940	35,673	日本株
113	Global Allocation	-320	-298	-1,273	273,820	グローバル・アセットアロケーション
114	Mid-Cap Value	-340	-49	-561	279,241	米国中型バリュー株
115	Real Estate	-361	+474	+984	103,055	米国REIT
116	Trading--Leveraged Equity	-363	+1,436	+681	101,477	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
117	Consumer Defensive	-422	+87	+767	29,943	ディフェンシブ消費財株
118	Mid-Cap Growth	-1,037	-168	-2,436	332,439	米国中型グロース株
119	Mid-Cap Blend	-1,132	+1,722	+62	381,544	米国中型ブレンド株
120	Long Government	-1,575	-150	+2,240	148,619	米国長期国債(6年超)
121	Small Blend	-1,948	+1,995	+136	461,983	米国小型ブレンド株
122	Large Value	-3,425	+3,174	+1,268	1,449,465	米国大型バリュー株
	全122分類の合計	+17,504	+22,165	+45,971	20,501,979	
	指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	+3.32	+1.37	-1.52		
	S&P500	+1.86	+1.20	+2.44		
	MSCI ワールド [®]	+1.84	+1.47	+1.91		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)

日本株は最新9月25日週に-3.1億ドル/約445億円と4週連続純流出で全122分類中111位(←前週120位)。

【日本株ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億ドル)】



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会